

Map



- 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」
A出口より徒歩3分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線
「永田町駅」A出口より徒歩3分
- 千代田線「赤坂駅」
徒歩8分
- 銀座線・南北線「溜池山王駅」
徒歩12分

詳しい地図はこちら ▶



Support

一般社団法人 全国公私病院連盟 / 公益社団法人 全国自治体病院協議会
公益社団法人 全国有料老人ホーム協会 / 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
公益社団法人 東京都歯科医師会 / 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
公益社団法人 東京都薬剤師会 / 一般社団法人 東京都臨床工学技士会
一般社団法人 日本医療・病院管理学会 / 公益社団法人 日本歯科医師会
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 / 一般社団法人 日本病院薬剤師会
公益社団法人 日本薬剤師会 (50音順)

Contact

一般社団法人日本ヘルスケアダイバーシティ学会事務局

〒870-0192 大分市西鶴崎3丁目7-11 (大分岡病院内)

TEL 097-529-5391 FAX 097-529-5392

担当 武石 (タケイシ)、小副川 (オソエガワ)

お申し込み



公式ホームページ



共同事務局：株式会社日本医療企画 九州支社

MEMO

日本ヘルスケアダイバーシティ学会^{主催}
パネルディスカッション *inTokyo*

多様性が拓く 未来の働き方

海外のアカデミックセンターにおける多様性について

2025

11 / 30 Sun.

9:50 ~ 12:30 (開場 9:20~)

国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス

〒107-8402 東京都港区赤坂4丁目1-26

Congress Chair

岡 敬二

一般社団法人日本ヘルスケアダイバーシティ学会 代表理事
社会医療法人 敬和会 理事長

Schedule

9:20 開場

11:25 休憩

9:50 開会式

11:35 パネルディスカッション
(真野先生 モデレーター)

10:00 松浦先生 講演

12:30 閉会式

10:45 三谷先生 講演

Registration Fee

一般 ¥5,000 学生 ¥3,000

Congress Chair 大会長 ご挨拶



岡 敬二

一般社団法人日本ヘルスケアダイバーシティ学会 代表理事
社会医療法人 敬和会 理事長

今回、東京において本学会が主催する、パネルディスカッションを開催する運びとなりました。「多様性が拓く未来の働き方 海外のアカデミックセンターにおける多様性について」、これが今回のテーマとなります。

現在、海外の異なるアカデミックセンターでご活躍中のお二人の研究者をお招きし、研究における多様性の本質、多様性が研究の現場において、イノベーションを生み出すことに、どのようなインパクトがあるのかをそれぞれご発表いただき、その後中央大学の真野 俊樹教授とともにディスカッションしていただく予定です。この企画によって、今後の我が国におけるヘルスケア領域の臨床や研究の発展に向けてのなんらかの示唆が得られれば、幸いであると考えています。

多くの皆様にご参加いただき、この企画をお楽しみいただければと期待しております。

Speakers 1

多様性の時代に生きるヘルスケア人材



松浦 由佳 氏

スタンフォード大学
医学部 研究員

あなたは高校時代、どんな将来を目指していましたか？進学・就職先はどのように選択し、就職時にはどのような職業人生を思い描いていましたか？今、半生を振り返って、かつての将来像と現在の状況は、どれほど一致して（異なって）いますか？理想像はどうでしょうか？新人時代に描いていた職業人としての理想像は、今も同じく、あなたの理想像ですか？希望通りの就職や、思い通りの昇進の実現ももちろん大切ですが、一度もっと大きな枠で、キャリアを考えてみませんか？

今回の講演タイトルには、「多様性の時代を生きるヘルスケア分野の職業人としてどうしたら良いか？」との問いかけと同時に、「多様性の時代にどのような職業人が生（活）きるか？」をぜひ一緒に考えて頂きたいとの思いを込めました。ヘルスケア分野における多様性とは何でしょうか？グローバル化、多様（高齢、障害、LGBTQ+）な患者・職員への配慮、女性や若手の活躍推進、働き方改革。確かにどれも「多様性」のキーワードですが、いずれも一例に過ぎません。本講演が「多様性とは何か？」という根本を改めて問い、皆さまそれぞれがご自身の多様性を考えてくださるきっかけとなれば幸いです。

Profile

診療放射線技師として神奈川県警友会けいゆう病院 放射線科、四谷メディカルキューブ 画像診断科での臨床勤務を経て、2009年 Stanford 大学医学部短期留学、2012-14年 Research Associate として勤務。帰国以来、診療業務に加えて大学教育やレギュラトリーサイエンス研究等に従事し、2024年に帰米。現在は Stanford 大学医学部 Research Scientist として勤務中。東京都立大学客員研究員、早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所招聘研究員。

Speakers 2

多民族国家であるマレーシアにおける Diversity と医学部



真野 俊樹 氏

中央大学大学院 教授

ヘルスケア領域においてダイバーシティ（多様性）を推進することは、質の高い医療提供と公平性の実現に直結すると思われる。

ただし、ダイバーシティを取り入れる際にはいくつかの重要な注意点があると思われるのでその論点を示したい。具体的には文化の問題、高齢者や障害者への対応、ジェンダーとセクシュアリティの尊重、経済的格差への配慮などがあげられる。

最終的には、制度設計における当事者の参加、すなわち、多様なバックグラウンドを持つ人々を政策形成や現場改善に参画させることで、実効性のある施策になると思われるが、日本では諸外国に比べてこの点もできていない。

Profile

1987年名古屋大学医学部卒業。医師、医学博士、経済学博士、MBA。臨床医を経て、95年9月コーネル大学医学部研究員。外資系製薬企業、国内製薬企業のマネジメントに携わる。同時に英国レスター大学大学院でMBA取得。その後、国立医療・病院管理研究所協力研究員、昭和大学医学部公衆衛生学（病院管理学担当）専任講師を経て、2005年6月多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授就任、その後多摩大学大学院教授、医療・介護ソリューション研究所所長を経て中央大学ビジネススクール教授多摩大学大学院特任教授。

Speakers 3

ダイバーシティが支えるカナダのヘルスケアと教育



三谷 綾 氏

トロント大学
ダラ・ラナ公衆衛生学部 助教

カナダは世界有数の移民受け入れ国として知られ、その社会は多様な文化的背景を持つ人々によって形成されています。このような多文化社会においては、言語、宗教、価値観の違いが、医療の提供や人々の受療行動に直接的かつ複雑な影響を与えています。カナダは新たな移民を積極的に迎え入れる一方で、先住民コミュニティに対する敬意と、歴史的責任を果たすことにも重点を置いており、その姿勢は医療政策や学術研究費の配分制度にも反映されています。

本発表では、カナダの医療制度がこうした多様性によってどのような影響を受けているのか、また、公衆衛生の視点からその課題と取り組みについて考察します。特に、トロント大学公衆衛生学部が提供する Black Health や Indigenous Health といった学位プログラムを取り上げ、多様な人々の健康ニーズに応えるための教育や研究の取り組みにも触れます。さらに、医療現場における文化的多様性が、医療データの質や収集プロセスにどのような影響を与えているのかについても、具体的な事例を交えながら検討します。

Profile

2019年にボストン大学にて生物統計学 (Biostatistics) の博士号を取得。同年よりハーバード大学 T.H. Chan 公衆衛生大学院にて博士研究員として研究に従事。2020年よりトロント大学ダラ・ラナ公衆衛生学部の Assistant Professor (助教) として着任し、現在に至る。2024年に第3回羽ばたく女性研究者賞 (マリア・スクウォッドフスカ = キュリー賞) 奨励賞を受賞。